

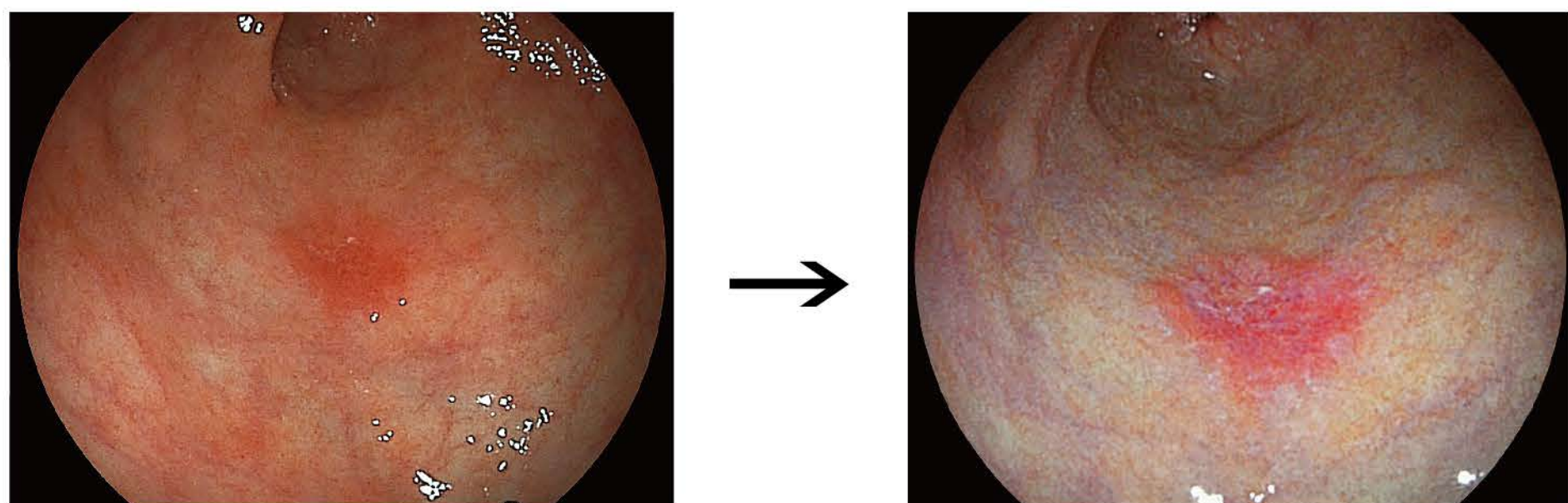
早期がんを
見やすくする
新技術です。

内視鏡で
胃がん
検診を。

胃がん早期発見時の10年生存率は、

95.1%^{*}です。
※ステージIの場合 / 2016年発表
出典:国立がん研究センターホームページより

そこで、早期がんも見やすくするレーザー内視鏡技術。
2つのレーザー光と医療画像技術で、早期発見をサポート。



粘膜表面の観察に適したレーザー光と画像処理技術で、早期がんの視認性が向上。
(画像提供:川崎医科大学 消化管内科 春間賢先生)



富士フイルム
研究員

FUJIFILM
Value from Innovation

世界は、
ひとつずつ
変えることができます。

◎ 当院では、レーザー内視鏡で検査が受けられます。